

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の実施状況

	交付対象事業の名称	事業の概要（計画） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費	交付金充当額	実施状況	成果及び効果	担当課	備考
1	経済活性化地域商品券事業	①村民生活と経済活動を支えるため、「地域商品券」5,000円を交付し、消費活動・経済循環を促進する。 ②5,000×1,675=8,375,000 他業務委託料 ③全村民	8,729,165	8,729,165	R2.7.1～R3.1.31 商品券使用期間	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、大きな影響を受けている村経済を活性化させるため、村内で使える商品券を発行することにより、村内消費促進が図られ、事業継続・維持の一助となった。	産業振興課	完了
2	宇検村商工業等緊急支援金	①新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、売上が前年同月比で30%以上減収があった観光・宿泊・飲食業者に対して、一律10万円を給付。 ②15×100,000=1,500,000 ③観光・宿泊・飲食業者	1,500,000	1,500,000	R2.6.10～R2.8.31 申請受付期間 影響月 令和2年3～5月(前年同月比30%以上減収対象) 15事業者活用	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、大きな影響を受けている村内事業者に対して、支援金を給付することにより事業継続・維持の支援につながった。	産業振興課	完了
3	宇検村水産養殖業緊急支援事業	①新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、売上が前年同月比で30%以上減収があった村内水産養殖業者に対して、従業員数に応じて支援金を給付（2,000千円を上限）。 ②1×2,000,000+1×1,700,000=3,700,000 ③村内水産養殖業者	3,700,000	3,700,000	R2.6.9～R2.8.31 申請受付期間 影響月 令和2年3～5月(前年同月比30%以上減収対象) 2事業者活用	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、大きな影響を受けている村内養殖業者に対して、雇用している従業員数に応じて支援金を給付することにより、村内雇用の継続・維持の支援につながった。	産業振興課	完了
4	地域の感染状況等を踏まえたきめ細かい医療提供体制等構築事業	①感染症拡大防止のために医療機関等へ消毒液やマスク等の確保並びに配布 ②アルコール消毒液・マスク購入、防護服、アクリル板購入 ③医療機関等	2,145,544	2,145,544	①防護服セット 200セット ②アルコール消毒液 100ℓ ・1ℓ×50本 ・5ℓ×10本 ③サージカルマスク 3,000枚 ④アクリル板 ⑤非接触型体温計	・感染症への対応として緊急に必要なとなる医療提供、検査体制を確保するために必要な物品等購入し体制等の構築を図り早急な感染対策を講じることができた。 ・感染者が増大した時を想定した準備も整備できた。	保健福祉課	完了

5	医療提供体制等市民への周知・協力依頼事業	<p>①感染症拡大防止のために村民への周知・啓発活動を行う。</p> <p>②マスク、消毒液、啓発用チラシ及び広告掲載等</p> <p>③全村民</p>	817,282	817,282	<p>①紙マスク ・大人用10,000枚 ・婦人・子供用10,000枚 ・消毒液50ℓ（1ℓ×50本）</p> <p>②パンフレット作成用紙代25,000枚</p> <p>③印刷トナー 6本</p> <p>④サーモマネージャーの設置</p> <p>⑤新聞広告掲載</p>	<p>・住民全世帯に対して感染拡大防止対策用の啓発チラシを作成し配布，また公共機関等に検温計・マスクや消毒液等の設置や配布したことで，村民の感染防止に対する意識が向上しコロナ感染者を令和2年度は0人に抑えることができた。</p>	保健福祉課	完了
6	手づくりマスク製作事業	<p>①感染症拡大防止のために紙マスクが入手困難な時期に子どもや高齢者，基礎疾患等で定期的に通院が必要な方確保できない世帯等へ配布するため，外出自粛期間に布マスク製作が可能な方を公募，依頼し，布マスクを確保しマスクとともに感染症防止の必要な情報を届ける。</p> <p>②手作りマスク購入費、封入袋等購入費及びマスク購入費</p> <p>③村民で①に該当</p>	547,414	547,414	<p>「マスクの名称：こころがつながりマスク」</p> <p>・布マスク作成枚数1,760枚</p> <p>・幼児，小中学生，高齢者，定期的に通院が必要な方々等へ配布（2枚ずつ）対象 880件</p>	<p>・紙マスクが入手困難，かつ国からの布マスクの配布前だったことから村民から喜ばれ，満足度が高かった。</p> <p>・感染防止対策のチラシも作成し，マスクとともに封入したことで，感染対策の普及啓発も図ることができた。</p> <p>・村民等に製作を依頼することで共助の心が育くまれた。</p>	保健福祉課	完了
7	健康支援事業	<p>①外出自粛等の影響を踏まえた健康づくりや地域全体の健康なまちづくりを推進するため，3密に配慮したウォーキングやランニング等の活動に対し，インセンティブを付与し，村内の商店・飲食店等で使用できる商品券等と引き換え，心身の健康と安全・安心の確保並びに住民生活の支援を行う。ICTを活用した健康支援。受診控えの未受診者への受診勧奨。</p> <p>②事業用タブレット使用料、封筒、トナー、ちらし等</p> <p>③全村民</p>	755,975	755,975	<p>ヘルシーチャレンジ企画</p> <p>○脂肪買取コース エントリー 78名 達成者(1kg以上減少)30名(39%)</p> <p>○記録コース エントリー 60名 達成者 39名(65%)</p> <p>タブレット使用料 16,836円</p>	<p>・若年世代から70代まで幅広く参加され，コロナ禍の運動不足解消につながった。</p> <p>・ICTも活用した事で，健診申し込み者数の増加や未受診者が受診するきっかけにもなり波及効果がみられた。</p> <p>・健康づくりを通じて，地域商品券を活用し地域活性化にもつながった。</p>	保健福祉課	完了

8	宇検村で宿泊体験観光魅力再発見事業	<p>①蔓延防止対策に伴う移動制限により、宿泊、飲食とガイド業者の稼働率が著しく減少していることから、地域内の観光機運の醸成を図るべく、利用者への全面支援を行うとともに、アンケート調査を実施することで、既存サービスのブラッシュアップ等を図る。また、村内の対象者への利用料支援による観光消費の増加も見込める。</p> <p>②宿泊・利用に係る料金</p> <p>③全村民</p>	15,380,192	15,380,192	<p>プログラム利用者総数 3,952名</p> <p>アンケート回収 3,738件</p> <p>既存サービスのブラッシュアップを目的としたプログラム登録数 58件</p> <p>参加事業者 20事業者</p>	<p>新型コロナウイルスにより減少した観光消費へ即効性のある効果が得られた。アンケート調査では、住民視点による既存サービスへの評価を参加事業者へフィードバックし、サービスブラッシュアップを促した。</p> <p>年代や居住地をアンケートに設けたことにより、年代別の行動範囲や観光に対する意識レベルの調査の成果が得られた。</p>	企画観光課	完了
9	宇検村事業者継続応援支援金	<p>①、②新型コロナウイルス感染症拡大の影響や村内イベントの中止等により、売上が前年同月比で15%以上減収があった商工業者に対して、支援金を給付。なお支援金の額は15%以上30%未満は5万円、30%以上は10万円とする。</p> <p>③村内商工業者</p>	200,000	200,000	<p>R2.10.1～R3.1.29</p> <p>申請受付期間 影響月 令和2年3～5月(前年同月比15%以上減収対象)</p> <p>2事業者活用</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、イベント等の減少等により大きな影響を受けている村内事業者に対して、減収率に応じて支援金を給付することにより、村内事業継続・維持の支援につながった。</p>	産業振興課	完了
10	地域の名産品魅力発信事業	<p>①新型コロナウイルス感染拡大の影響により消費の落ち込んだ農産物の消費回復のために村独自のブランドを立ち上げブランドを活かしたマーケティングでの消費回復、拡大を図る。]</p> <p>②ダンボール版代及びデザイン代など</p> <p>③農業従事者</p>	960,283	960,283	<p>・村独自のデザインのダンボールを制作。6名の農業従事者に計624枚配布</p> <p>・光センサー選果機を通す際に発生する委託選果手数料1kg/26円を対象農家6名に助成。</p>	<p>本事業により村独自のブランドが立ち上げられ、ブランド化に向けて光センサー選果機の活用の推進が図られた。市場へのマーケティング面での強化や、農家の営農に係る経費の軽減、ブランド化への意識改革につながった。</p>	産業振興課	完了
11	新型コロナウイルス感染症水際対策委託負担金	<p>①島内での新型コロナ感染症の発生を水際で阻止するため、奄美空港・名瀬港において、島外からの旅行者に対して、検温及びサーモグラフィで監視を行う。その検温・監視の業務を民間業者へ委託するため、島内の5市町村および鹿児島県で負担金として支払う。</p> <p>②各市町村負担金</p> <p>③全村民</p>	929,000	929,000	<p>◎奄美空港における水際対策 費用負担額 554,068円</p> <p>◎名瀬港における水際対策 費用負担額 169,941円</p> <p>◎感染防止対策のうちわも作成し、島外からの旅行者等に注意喚起を図るために配布した</p>	<p>名瀬港・奄美空港の到着口付近にサーモグラフィを設置し、到着者全員に対して簡易体温測定を行い基準値以上の体温のある方に対して非接触型体温計による体温測定及び連絡先の聞き取り調査を行ったことにより注意喚起が行えた。</p>	保健福祉課	完了

12	宇検村公共交通支援事業1	<p>①新型コロナウイルス感染症収束後を視野に村内唯一の公共交通であるバスの利用促進を図るため、現在は老朽化している村内バス停の時刻表のリニューアルを実施。バス停には村公認キャラクターと集落の観光名所が描かれた図柄を使用。バス停看板に地域観光名所をプリントし、同じ図柄のスタンプを作成しスタンプラリー方式で地域公共交通のバスの利用者増を目標とする。</p> <p>②2台のバスのラッピングデザイン等</p> <p>③バス事業者及びバス利用者</p>	1,279,000	1,279,000	時刻表のリニューアル実施。バス停の標記も日本語と英語表記にした。	時刻表とバス停のリニューアルでバスを利用する観光客が増えたとの報告有。	企画観光課	完了
13	宇検村公共交通支援事業2	<p>①新型コロナウイルス感染症の影響で利用者が減少した村内唯一の公共交通であるバスに対して、新型コロナウイルス感染症収束後の利用促進を図るため、村内2系統分のバスラッピングを実施。合わせてバスの内装も村公認キャラクターの図柄を使用し観光PRを兼ねた取り組みを実施。</p> <p>②村内全バス停の設置及びデザイン等</p> <p>③バス事業者及びバス利用者</p>	1,435,500	1,435,500	コロナ禍で、運賃収入が減少したバス会社の支援も含めて、村内2系統を運行している2台の車両について、バスラッピングを実施した。併せて、バスの観光利用促進のため、村内2系統のルートを示したポストカードを作成し、観光関連施設等で配布。	2台のバスラッピングを実施した後、役場へラッピング車両へ乗車したいとの問い合わせも増えた。	企画観光課	完了
14	地域コミュニティ総活躍支援事業	<p>①新型コロナウイルスの影響で、集落行事も村の行事もほとんど中止になり、各集落の自治会や青年団、婦人会、老人会などの収入がなく、活動資金はほぼゼロになった。寄付の一部が村外の出身からという現状を考えると、集落間、市町村間の交流もままならない中では、今後の集落行事への影響も必至である。そこで集落総ぐるみでこのコロナの影響を乗り越えコミュニティを維持していくために、集落の活動資金の一部を支援する。</p> <p>②集落支援金300,000円×対象団体14集落＝4,200,000円</p> <p>③村内全集落</p>	4,200,000	4,200,000	集落支援金として、300,000円を14集落に助成。 300,000円×14＝4,200,000円	集落運営費が厳しい状況にある中で、助成金を交付したことで、集落及び集落内の団体活動ができ、コミュニティを維持することができた。	総務課	完了

15	村内小中学校情報端末購入支援事業	<p>①令和元年5月1日現在の児童生徒数119名にタブレットを購入。(1台45,900円が国庫補助上限)性能の向上や付属品の購入で上限を超える分(32,900円)について、交付金を活用。教師用21名分のタブレットを購入。1台当たり78,800円について、交付金を活用。</p> <p>②教師、児童生徒用のタブレット端末 140台</p> <p>③村内全学校</p>	5,569,900	5,569,900	児童生徒1人1台に国庫補助上限を超える分(32,900円)及び教師用として21名分に1台当たり78,800円に対して、交付金を活用した。	児童生徒に1人1台に上乗せ補助及び指導者用タブレットを購入し、情報教育環境を整備することにより、学習環境の充実を図ることができた。	教育委員会	完了
16	学校保健特別対策事業費補助金	<p>①学校における感染症対策等支援として村内各校にサーキュレーター及び消毒用フットポンプの購入。</p> <p>②サーキュレーター 23台 消毒用フットポンプ 17台</p> <p>③村内全学校</p>	449,214	225,000	感染症対策として村内小中学校5校にサーキュレーター 23台と消毒用フットポンプ17台を購入した。	感染症対策を図ることにより、子供たちが安心して学べる環境が整備できた。	教育委員会	完了
17	奄美大島滞在促進事業	<p>①新型コロナウイルス感染症終息後の奄美大島における観光を促進するため、奄美大島5市町村で連携し、世界自然遺産登録へ向けたメディアジャック(新聞広告)及び観光PR映像の制作を行った。これにあたり島内各市町村で支払う負担金に交付金を充当した。</p> <p>②市町村負担金</p> <p>③全村民及び村外からの来島者</p>	3,079,000	3,079,000	令和3年度世界自然遺産登録メディアジャック・奄美大島の魅力普及啓発事業の実施 契約締結日～令和4年3月10日 ・奄美大島への来訪者	2事業を活用し日本全国へ奄美大島の魅力をPRした。豊かな生物多様性を誇る自然環境が評価され、令和3年7月には世界自然遺産登録に至った。既存来訪者及び新規来訪者の増加が期待できる。	企画観光課	完了